

## 上関地点 2022年度 下半期の環境監視調査結果について

水質調査の結果は、管理目標値を満足していた。

陸生、海生生物については、過去の調査結果と比較して顕著な変化は見られなかった。

項目		調査時期	調査結果概要			
水質	陸域工事 排水の水質	10月11日 11月10日 12月5日 1月12日 2月9日 3月9日	水素イオン濃度、浮遊物質量ともに管理目標値内であった。			-
			項目	調査結果	管理目標値	
			水素イオン濃度	6.8~7.5	5.0以上9.0以下	
			浮遊物質量 (日平均値)	6mg/L 以下	150mg/L 以下	
陸生生物	ハヤブサ	2月28日 3月14、28日	鼻線島において、親鳥による抱卵行動を確認した。 なお、各月で雄、雌の親鳥を確認した。			写真1
海生生物	潮間帯生物	10月11~13日	植物ではヒジキ、イワノカワ科など28種、動物ではアマガイ、カメノテなど45種を確認した。			写真2
	海藻草類		ノギリモク、サビ亜科など26種を確認した。			
	底生生物		ムラサキウニ、アカウニなど6種を確認した。			
海生生物	スナメリ	10月、3月 (週1回・計8日)	確認回数は計9回、延べ19頭を確認した。			-
海生生物	カクメイ科等の貝類	11月8~10日 2月8、9日	カクメイ科の貝類は確認されなかった。 タイドプール※1 2箇所のうち1箇所は、岩盤の崩落があり、引き続き崩落の恐れがあるため、1箇所での調査を実施した。			-

※1 タイドプール:干潮時に海辺の岩場にできる潮だまり

## 【参考】

## 《環境監視調査計画以外の環境調査》

## ○ カムリウミスズメ(写真3)

1月に延べ2個体(鼻線島の南)、2月に延べ2個体(鼻線島の南西)、3月に延べ4個体(祝島の東[1個体])(天田島の南[3個体])を確認した。

## ○ カラスバト(写真4)

計画地点において、11月に鳴き声を確認した。

鼻線島においては、10、11、1、2月に姿および鳴き声、12月に姿、3月に鳴き声を確認した。

## 《その他》

## ○ 鼻線島のミサゴ(レッドデータブックやまぐち2019「準絶滅危惧」、環境省レッドリスト「準絶滅危惧」)

の繁殖行動状況について、継続観察した結果、2、3月に親鳥(雄、雌)を確認した。(写真5)

また、埋め立て予定地内の小島※で3月に親鳥(雄、雌)による抱卵を確認した。(写真6)

天田島においても3月に造巣を確認した。(写真7)

※埋め立て予定地内の小島は上関町の町木であるビヤクシンの生育が卓越しているため、保存する計画である。

## ○ 鼻線島においてクロサギ(レッドデータブックやまぐち2019「絶滅危惧Ⅱ類」)を既知営巣地周辺で11月に1羽確認し、2、3月にも周辺の岩場で2羽確認した。(写真8)

【調査写真】

写真1:ハヤブサ



2月28日 親鳥(雌)



3月28日 親鳥(雄)

写真2:海生生物(10月11~13日)



ヒジキ



カメノテ



ノコギリモク



ムラサキウニ

写真3:カンムリウミスズメ



3月7日 天田島

写真4:カラスバト



1月31日 鼻繰島

写真5:ミサゴ(鼻繰島)



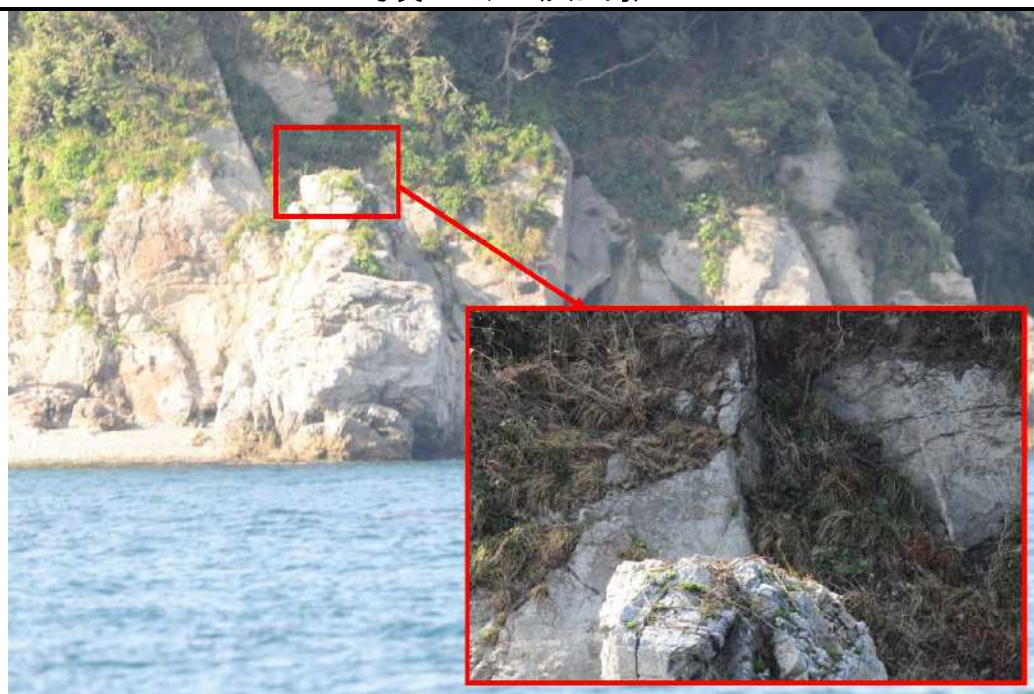
2月28日

写真6:ミサゴ(小島)



3月28日

写真7:ミサゴ(天田島)



3月28日

写真8:クロサギ



11月17日 鼻繰島